
**地域の課題解決に向けた
取組みに関するアンケート
－ 結果報告書 －**

令和3年3月

徳島市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の対象と調査方法	1
3. 調査期間	1
4. 回収状況	1
5. 報告書の見方	1
第2章 調査の結果	2
1. 回答者の属性	2
問1 性別	2
問2 年齢	2
2. お住まいについて	2
問3 お住まいについて	2
問4 居住期間	2
3. 地域の課題について	3
問5 地域の課題について	3
問6 取り組める課題について	4

第1章 調査の概要

1. 調査目的

徳島市では、「第2期徳島市地域福祉計画」を策定し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を基本理念に各種施策を実施しているが、令和3年度末で計画期間が終了することに加えて、近年、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化していることなどから、現在、令和4年度からを計画期間とする「第3期徳島市地域福祉計画」の策定を進めている。

第3期徳島市地域福祉計画策定にあたり、当初ワークショップの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を鑑み、ワークショップに代わり、地域の課題解決に向けた取り組みに関するアンケート調査を実施した。

2. 調査の対象と調査方法

(1) 対象者

徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野の学生

(2) 調査方法

メール依頼、メール回収

3. 調査期間

令和3年2月5日～2月15日

4. 回収状況

依頼数	回収数	回収率
14人	14票	100%

5. 報告書の見方

- ・グラフ中の「N (Number of case の略)」はその質問の該当者数を表しており、回答率 (%) は、そのNを基数として算出した。
- ・集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- ・複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- ・(問6) 優先度の高い課題(最大3項目)について、優先順位が最も高い課題を3ポイント、2番目に高い課題を2ポイント、3番目に高い課題を1ポイントとして集計し、点数の高かった意見を整理した。

第2章 調査の結果

1. 回答者の属性

問1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。【どちらかに○】

「女性」(100.0%) となっています。

問2 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。【令和3年2月1日現在の年齢を記入】

回答した方の年齢は、「21歳～23歳」 となっています。

2. お住まいについて

問3 お住まいについて

問3 現在のお住まいの地区はどこですか。【一つだけに○】

「加茂名地区」(5人)、「佐古地区」(4人)、「加茂地区」、「川内地区」、「国府地区」(いずれも1人) となっており、それ以外の地区で「南蔵本町」(1人)、「藍住町」(1人) となっています。

問4 居住期間

問4 現在お住まいの地区には、どのくらいの期間お住まいですか。【一つだけに○】

「5年未満」(9人) が最も高く、次いで「生まれてからずっと」(3人)、「5年以上」(2人) となっています。

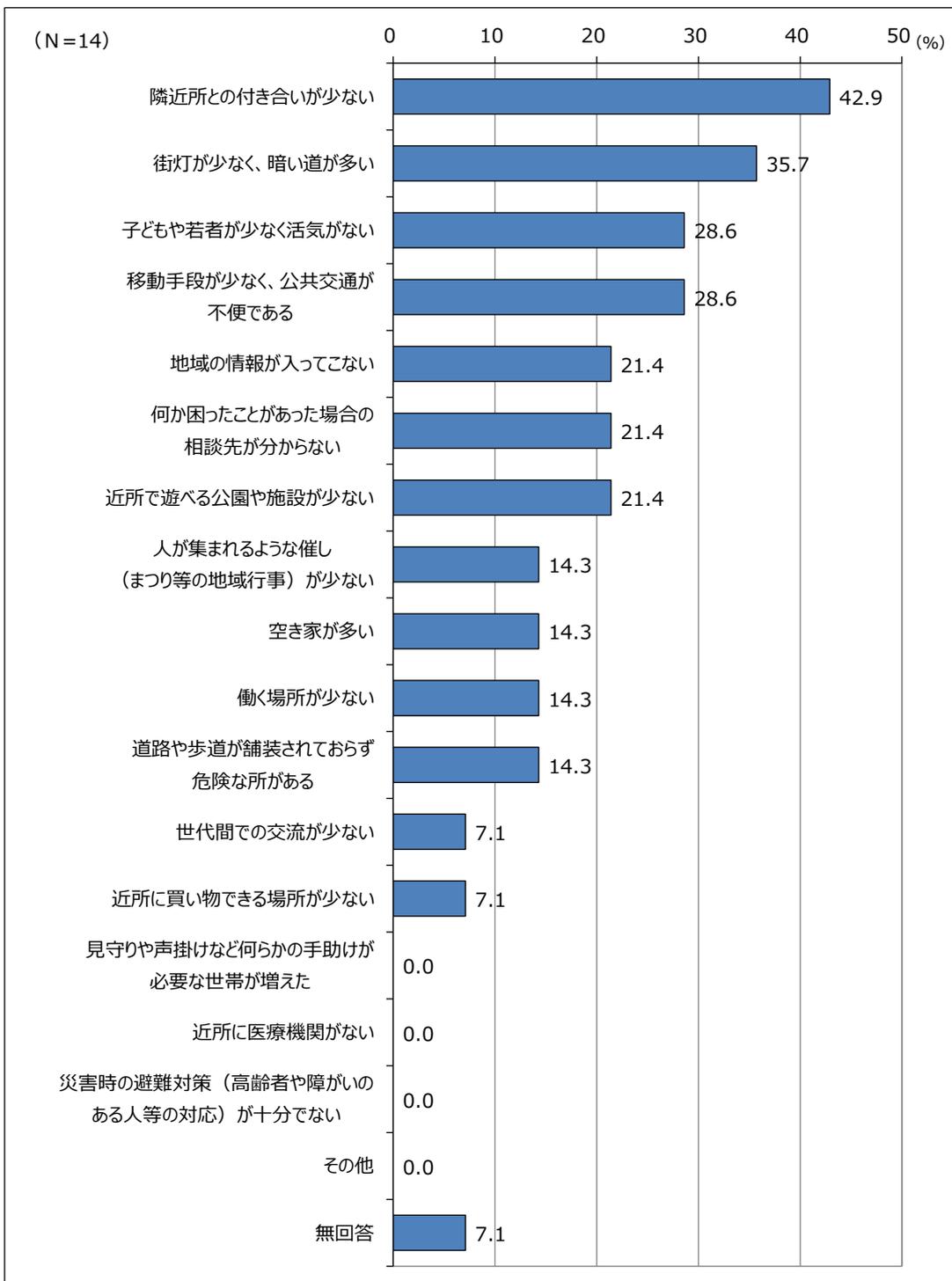
3. 地域の課題について

問5 地域の課題について

問5 あなたが居住している地域(※)では、どのような課題があると思いますか？【あてはまるものすべてに○】

「隣近所との付き合いが少ない」(42.9%) が最も高く、次いで「街灯が少なく、暗い道が多い」(35.7%)、「子どもや若者が少なく活気がない」、「移動手段が少なく、公共交通が不便である」(ともに 28.6%) などとなっています。

図表



問6 取り組める課題について

問6 問5で回答した課題のうち、優先度が高い課題(最大3項目)について、“自助”“共助”“公助”それぞれで取り組めることについて、記入例を参考にあなたのお考えを教えてください。

優先度が高い課題（最大3項目）について、優先順位が最も高い課題を3ポイント、2番目に高い課題を2ポイント、3番目に高い課題を1ポイントとして集計し、点数の高かった意見を整理した。尚、【世代間での交流が少ない】、【道路や歩道が舗装されておらず危険な所がある】については意見がありませんでした。

優先順位 第1位

【隣近所との付き合いが少ない：18ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・近所で支援が必要な高齢者などに対して積極的に関わる。 ・引越し時の挨拶などで関係づくりを行う。 ・学生、主婦など同じような環境の人同士で交流会を行う。 ・地域のイベントに積極的に参加する。 ・隣近所や地域のことを知る。 ・趣味などを通じて関わりを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを中心に、小学生の通学路での見守り活動や高齢者への声かけを行う。 ・住民同士が顔見知りになれるようなイベントをする。 ・住民同士で集まれる場を整備する。 ・地域の中でリーダーなど役割を決めて活動する。 ・子供会や保護者会を企画する。 ・ご近所同士がお互いに声を掛け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で近所の人が集まれる施設やスペースを確保する。 ・地域の人が気軽に参加できるイベントを開催する。 ・県、市の補助金を増やす。 ・ポスターなどの広報活動。 ・一人暮らしの方、障害のある方への対応。 ・認知症サポーター養成講座の開催。 ・隣近所付き合いに関するアンケート調査を実施する。

優先順位 第2位

【移動手段が少なく、公共交通が不便である：8ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、歩いたり時間がある人が乗せる。 ・地域の公共交通を把握する。 ・家族や隣近所の友人に移動の手伝いをお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と日頃からの情報交換を行う。 ・移動に困っている住民の把握。 ・ボランティアによる運送の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の使える範囲を増やす。 ・県や市の補助金を増やす。 ・バスや汽車の運行本数を増やす。 ・利用者の多い公共交通を把握する。 ・移動手段に関するアンケート調査を実施する。

優先順位 第3位

【街灯が少なく、暗い道が多い：6ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・反射板や懐中電灯を持って歩く。 ・暗い時間には通らない。 ・自転車のライトの点灯。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの道が危険かを話し合い、地域で共有する。 ・自治体に対して街灯の設置要請を行う。 ・設置が必要な箇所についてアンケート等により意見を募集する。 ・地域で見守り活動を行う。(小中高学生の下校時間など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供や高齢者などが多く住む地域や危険な道路に街灯を設置する。 ・対策が必要な箇所を把握するための調査を行う。 ・事故や不審者情報などから優先度の高い箇所を把握する。 ・街灯などの設置に協力が得られる企業等を見つける。 ・必要な予算を確保する。

優先順位 第4位

【子どもや若者が少なく活気がない：5ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で自分の住む街の魅力を発信する。 ・ イベントを企画する。 ・ インターネットやテレビ、チラシ等を利用して、地域の情報を得る・発信する。 ・ 隣近所や家族から情報を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域でのイベントを企画する。 ・ 地域の人と呼びかけ合い、参加を促す。 ・ 隣近所や町内会等で情報を共有する。 ・ 掲示板や回覧板を通して、地域の情報を伝える。 ・ 情報を得ることができない住民を把握し支える。 ・ 地域情報サイトを適切に更新、運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で地域の情報を発信する。 ・ どのような企画が良いかニーズを把握する。 ・ 県や市の補助金を増やす。 ・ 住民が必要な情報を得ることができるように、ホームページに記載する。 ・ 条例や制度の整備。 ・ 地域包括支援センターなどの施設で、様々な情報を提供する。 ・ 地域住民の情報収集源を把握する。 ・ 情報収集に関するアンケート調査を実施する。

【人が集まれるような催し（祭等の地域行事）が少ない：5ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントがあれば積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段から近隣の方との交流を図り、一緒に参加したりして催しに活気をもたらす。 ・ 今あるイベントの情報交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 催しがあれば積極的に参加する。 ・ 新聞や SNS などイベントの広告を出す。参加を呼びかける。

【空き家が多い：5ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の積極的な活用。 ・ 空き家の持ち主、親戚等に連絡を取る、探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を公民館など公共の場として扱う。 ・ 空き家の持ち主、親戚等に連絡を取ったり探す。 ・ 空き家の利用方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リノベーションを行う。 ・ 空き家の利用方法について、どのような方法があるかを市民に周知する。 ・ 空き家を活用する資金を集める。

優先順位 第7位

【何か困ったことがあった場合の相談先がわからない：3ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方と交流を持つ。 ・ ネットで探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流を持つ。 ・ 情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすい提示をしてほしい。 ・ チラシを配る。 ・ 病院や学校、スーパーなど身近な場所に出張型で相談する場を設ける。

優先順位 第8位

【地域の情報が入ってこない：2ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・交流を持つ。 ・インターネットやテレビ、チラシ等を利用して、地域の情報を得る。 ・隣近所や家族から情報を得る。 ・地域情報サイトを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流を持つ。 ・掲示板や回覧板を通して、地域の情報を伝える。 ・情報を得ることができない住民を把握し支える。 ・地域情報サイトを適切に更新、運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県や市の補助金を増やす。 ・住民が必要な情報を得ることができるように、わかりやすくホームページに記載する。 ・条例や制度の整備。 ・地域包括支援センターなどの施設で、様々な情報を提供する。 ・情報収集に関するアンケート調査を実施する。

【働く場所がない：2ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・働ける場所を見つける、自分で作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が足りないのか、どういう人材が必要なのかを発信する。

【近所で遊べる公園や施設が少ない：2ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできる遊びを作る。 ・複数の家庭が協力して保護者の見守りにより安全の確保を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での集まりを増やす。 ・公民館などの空きスペースを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使っていない場所を新しく開発する。 ・空き家や空き地を整備する。

優先順位 第11位

【近所に買い物できる場所が少ない：1ポイント】

自助	共助	公助
<ul style="list-style-type: none"> ・- 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所や家族で買い物を助け合う。 ・御用聞きサービスを復活させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーなどを設置する。 ・移動型スーパーなどを活用し、遠くに行かなくても買い物ができるようにする。 ・公共交通等を利用して、量販店への送迎ができるようにする。